

# 令和4年夏 子ども図書館おすすめ本

～「夏の読書カード」より～

## ★<sup>ようじ</sup>幼児におすす<sup>ほん</sup>めの本★

### ★『ミリーのすてきなぼうし』

きたむらさとし/<sup>さく</sup>作 BL<sup>しゅつぱん</sup>出版



お気に入りのぼうしがほしいミリーですが、おかねをもっていません。そんなミリーに <sup>や</sup>ぼうし屋の店長<sup>てんちやう</sup>さんが渡<sup>わた</sup>してくれたぼうしは……。

### ★『ふらいぱんじいさん』

かんざわとしこ <sup>さく</sup>神沢利子/<sup>え</sup>堀内誠一/<sup>しよぼう</sup>絵 あかね書房



たまごを<sup>や</sup>焼かせてもらえなくなったふらいぱんじいさん。しょんぼりしていると <sup>ごきぶり</sup>が「たびにでたらどうだい。」と<sup>こえ</sup>声をかけてくれました。

### ★『オレときいろ』

ミロコマチコ/<sup>さく</sup>作 WAVE<sup>しゅつぱん</sup>出版



よ<sup>たの</sup>読んで楽しむ？み<sup>たの</sup>見て楽しむ？手にと<sup>て</sup>取るたびに <sup>あた</sup>新しい<sup>なに</sup>何かが<sup>はっけん</sup>発見できそうなワクワク<sup>えほん</sup>絵本です。親子で<sup>おやこ</sup>たくさんおはなしが<sup>えほん</sup>できそうですね。



しょうがっこう ねんせい ほん  
★小学校1・2・3年生におすすめの本★

★『<sup>の</sup>野ばらの<sup>むら</sup>村のピクニック』



ジル・バークレム/作・絵 出版ワークス

うつく 美しい<sup>でんえん</sup>田園<sup>なか</sup>の中にある<sup>の</sup>野ばら<sup>むら</sup>村で  
暮らす<sup>もの</sup>ねずみ<sup>がたり</sup>たちの物語。

ウィルフレッドのたんじょう<sup>び</sup>日の  
きょう 今日、アップルおじさんを<sup>ちゆうしん</sup>中心<sup>もり</sup>に森  
のみん<sup>けいかく</sup>なが計画したのは……。

★『<sup>しょくどう</sup>みさき食堂へようこそ』



こうさか なお さく きたざわへいすけ え こうだんしゃ  
香坂 直/作 北沢平祐/絵 講談社

たべたいものがあるけど、わけがあ  
ってたべられない人がやってくる  
<sup>しょくどう</sup>食堂。それがみさき<sup>しょくどう</sup>食堂。

きょう <sup>かぜ</sup>風<sup>きやくさま</sup>にのってお客様が。

どうぞ、おめし<sup>あ</sup>上がりください。

★『ごきげんなすてご』



いとうひろし/作 徳間書店

すてごって、<sup>す</sup>捨てられた<sup>こ</sup>子どもの  
こと? えっ、かわいそう。

<sup>わたし</sup>私<sup>な</sup>だったら泣いちゃいそう。

でも「ごきげん」って書いてある。  
どうして? どうして? どうして?



## ★小学校4・5・6年生におすすめの本★

### ★『ぼくがラーメンたべてるとき』

長谷川義史/作・絵 教育画劇



ほのぼのとした絵、短い文の中に、多くのことが込められているように感じる絵本。人によって読み方はさまざまかな？あなたはこの本をどのように読みますか。

### ★『さよなら、田中さん』

鈴木るりか/作 小学館



表題作含め、全5編の短編集。著者は、出版当時なんと中学2年の14歳。みなさんと同年代の小説家のデビュー作。さてさて、どんなお話が……。

### ★『ハンカチの上の花畑』

安房直子/作 岩淵慶造/絵 あかね書房



酒屋のおばあさんから不思議なつぼを預かってしまった郵便屋さん。「デテオイデ デテオイデ キクザケヅクリノ コビトサン」。この言葉を口にすると……。

